

平成21年4月から

指定ごみ袋制とレジ袋

レジ袋の有料化

県内各地でレジ袋の有料化が進む中、豊橋市を除く東三河の8市町村が足並みをそろえて、来年4月のスタートを目標にレジ袋有料化の取り組みを進めています。

マイバッグ持参でごみ減量

私たちは、1年間に1人で約300枚のレジ袋をもらっていると言われていました。

レジ袋って便利ですよ。買い物はもちろん、もらったレジ袋を再利用している方も多いと思います。

でも、便利なレジ袋も最後はごみとして捨ててしまうもの。再利用されているのは100枚、残りの200枚はそのままごみとして捨てられているともいわれています。

また、レジ袋を製造・廃棄する際には、1枚あたり約60gのCO₂が発生します。貴重な資源を節約し、CO₂を抑制するためにも、買い物にはマイバッグを持って出かけましょう。

有料化へ向けての取り組み

①消費者団体・店舗・市が協働で取り組むための協議会を立ち上げます。
この協議会では、レジ袋有料化に向けての3者の役割やレジ袋辞退率の目標値など「レジ袋削減協定書」の内容について決めていきます。

②消費者団体・店舗・市の3者による協定を結びます。

③平成21年4月から協力店舗によるレジ袋の有料化をスタートします。

※市では、レジ袋の有料化に協力していただけるお店を随時募集しています。詳しくは環境課までお問い合わせください。

資源循環型のライフスタイルは、「無駄なものもらわない」ことから始まります。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

協力店舗での
レジ袋辞退率
目標80%以上!



レジ袋削減取組店を募集しています。

愛知県では、「レジ袋削減取組店制度」に登録していただける事業者を募集しています。これは「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が行う制度で、積極的にレジ袋の削減を進めたお店を表彰し、環境負荷の低減に配慮している優良店として市民に向けたPRを行うものです。

☆平成20年度第二次登録受付

12月19日(金)まで

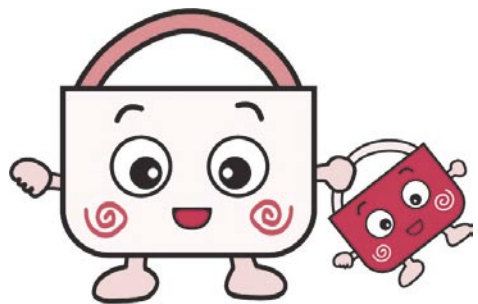
☆市内の登録店舗(6月末現在)

「ヤマナカ形原店」

【問合せ先】

愛知県環境部資源循環推進課

(☎052◆954◆6234)



東三河8市町村のキャラクター
やらマイバックン